



令和7年度 知的財産権制度活用優良企業等表彰

知財功労賞 経済産業大臣表彰

デザイン経営企業

馬路村農業協同組合

代表理事組合長 長野 桃太

企業概要

<https://www.yuzu.or.jp/>

所在地：高知県安芸郡馬路村3888-4

設立：1948年

資本金：187百万円

従業員：90人

事業概要：共済事業、購買事業、営農指導事業、販売事業、代理店事業



受賞のポイント

- ①昭和38年頃からゆずの栽培を開始し、加工品（ポン酢、飲料等）を中心に、ブランド戦略、デザイン戦略を模索。販路を県外に求める中で、都市部の人の多くは田舎に懐かしみやあこがれを抱いているとの潜在ニーズを発見。昭和60年頃から農協が中心となって、ゆずではなく村を前面に出す「村をまるごと売る」戦略を推進し、競合と差別化。
- ②内側から見たありのままの馬路村を伝えるべく、農家や村民と密に連携。商品パッケージを多面的な馬路村を伝えるデザインとし、商品発送時には、村民のコメントや村の情報を載せた新聞、緩衝材代わりに村の図案のタオル、交流用のハガキを同封するなど、村を伝え、村との繋がりを感じさせる取組により、村のファンを獲得。
- ③顧客との繋がりで得た意見を商品に反映するほか、大学との共同研究など、ゆずの研究にも取り組み、化粧品等の新事業にも進出。研究開発の成果とブランド価値を守るため、特許や商標を取得し、国内外の模倣品や冒認出願には毅然と対応。このような取組が村の豊かさに大きく貢献している。令和6年4月には「オーガニックビレッジ宣言」を行い、自然由来に着目したイメージ戦略にも着手。



ゆず収穫期の村の様子



ゆず加工品「ごっくん馬路村」「ゆずの村ぽん酢しょうゆ」



『馬路村』を売り出したポスター



令和6年にオーガニックビレッジ宣言